



北海道真駒内養護学校

令和2年度 実践研究

次年度に向けて

【研究主題】

2 年目 / 2 力年計画

根拠のある**学習評価**を目指して

～日々の授業と教育課程の改善をつなげるための仕組みをつくる～

●キーワード

記録の累積、複数で評価→自信を持って評価できる。
(根拠、妥当性)

P D C A

※学習評価を行うことで→サイクルを機能させる。
(カリキュラムマネジメントの充実)

2 年度

【各教科の授業実践 ・ 授業改善】

①児童生徒の評価（学習評価）

※児童生徒の成長

②指導の工夫に対する評価 （指導の評価）

※授業者の評価

2 年度

【各教科の授業実践 ・ 授業改善】

グループ・・・小一中高の串ざしグループ

音楽

図工・美術

体育

生活・理科・社会

国語

算数・数学

6 グループ

※別：訪問、寄宿舎

単元計画の作成



授業実践



学習評価

指導の評価



次の単元へ

【単元計画】

単元計画に必ず入れる項目

※教務と相談中

●目標

学習指導要領の各段階の目標

（個別の各教科年間目標）

●評価

（１）児童生徒の評価

※評価基準 3 観点

◎、○で評価。

△の場合は直ちに指導改善。

（２）指導の工夫に対する評価

思考力・判断力・
表現力等

※授業作りの
5つの視点

※授業者支援会議

(2) 指導の工夫に対する評価

身につけるために

思考力・判断力・表現力に焦点を当てる。

授業作りの5つの視点

どんな工夫が必要か。

どんな配慮が必要か。

「物理的環境支援」 「補助的手段」 「人的支援のあり方」
「学習機会の在り方」 「多様な評価」

→授業作りにおける真駒内のスタンダードに！

<ゴールのイメージ>

- ①単元計画の書き方が分かる。
→単元計画の様式決定（全校共通）
- ②3観点に沿った評価ができる。
→分かりやすい、簡単
- ③授業作りにおいて工夫すべきこと、配慮すべきことが分かる。
- ④次年度の年間指導計画の見直し、指導すべき内容の修正

<研究日程目安>

5月初	6月 ①	7月 ②	7月 ③	夏季 DAY	9月 ④	9月 ⑤	10月	11月 ⑥	11月 ⑦	12月	12月	冬季DAY
全校研究 R2実践	・単元計画を持ち寄って、各教科において工夫したこと等をまとめる。 ・単元計画と対応させながら、年間指導計画の見直し、指導すべき内容の修正を行う。			中間発表 6グループ	・グループ内で授業を見合う。（ビデオ可） ・授業者支援会議等も必要に応じ実施。		単元計画の様式決定 ※教務提案	・報告会に向けて（年間指導計画の見直し、指導すべき内容の修正）		報告会 6グループ		全校研究まとめ（訪問・寄宿舍グループ、研究部）

◎グループ代表者会議
（研究、教務合同）